

BEP策定支援軸にコンサル展開

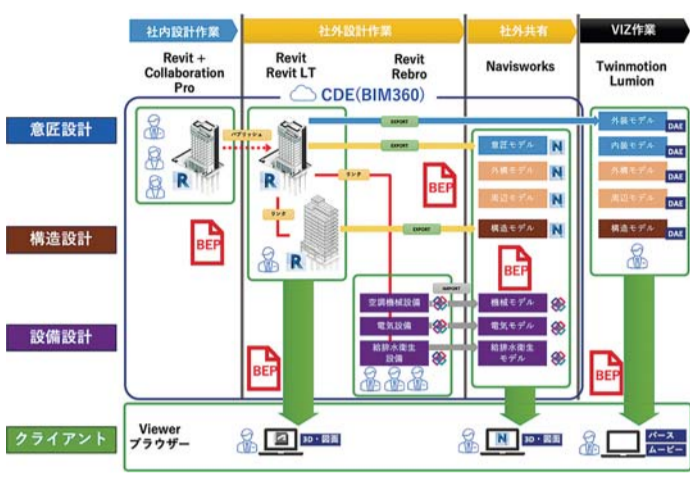
ビム・アーキテクト

ビム・アーキテクト(東京 都田田谷区)が、BIM実行計画(BEP)の策定支援を軸としたBIMコンサルサービスを積極展開する。山際東代表は「CDE(共通データ環境)を整え、BEPに沿って、BIMマネージャが的確に運用管理する流れをしっかりと位置付けることが重要」と語る。BIM導入に踏み切ったものの、思うように定着しない悩みを持つ企業もある。状況を打開する上でも「BIMで設計する楽しさを理解していただくことが近道になる」と強調する。



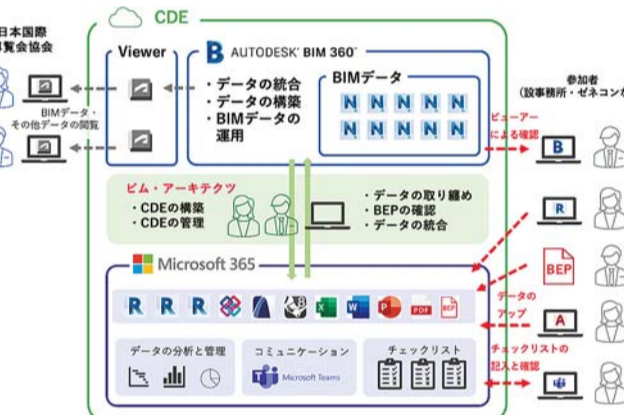
山際氏

背景には、2025年4月の開業に向けて整備が進む大阪・関西万博で、同社が会場施設のBIMデータ統合管理



CDEとBEPのイメージ

「ただ、提出データの途中には2次元データも含まれている。BIM化したデータを後付けでBIM化したケースもあるように思う。企業として十分にBIMを使いこなせていない状況を知ることが、国士交通省BIM推進会議での議論が本



大阪・関西万博でのデータ管理イメージ

「建築の情報化」によって厳密な環境シミュレーションも可能になり、それが最終的に維持管理段階のBIM活用にも展開できる。同社はBIM導入の支援だけでなく、建物ライフサイクルを通じて活用するコンサルティンクについても展開していく方針だ。

最適設計案素早く探すソフト開発

アドバンスドナレッジ研究所

建設業に働き方改革が強く求められる中、アドバンスドナレッジ研究所は、次世代FlowDesignerの開発に向けた取り組みを推進している。環境設計の分野では、快適性を検討するための熱、光、風、音、日照の五要素に加え、感染症予防や換気など「空気的安全性」という新たな要素が求められている。さらに設計者は修正

ためのノウハウの共有、ツール間の互換性の問題など二般的に新しいシステムやツールを維持運用していく上で避けては通れない課題が多い。その中でアドバンスドナレッジ研究所の黒岩真也代表取締役は「少なくとも快適性や安全性を第三者に提案する場合、素早く、分かりやすく伝える必要がある。われわれが開発するFlowDesignerはそのポテンシャルを十分もっており、うまく活用すればその設計者の費用対効果も伝えられる可能性がある」とボイン



UA値で断熱性能の効果比較

性能を表すUA値(外皮平均熱貫流率)の違いを伝えるときに、その費用対効果を上手に伝えることが重要になる。仮に専門知識をもたないクライアントであれば、「断熱

情報の積上げが設計の楽しさに

格化し、民間プロジェクトへのBIM普及促進に向けた加速事業もスタートしている。日本におけるBIM普及の気運が高まっているだけに「BIMデータを最大限に活用するために貢献したい」との思いを強く持っている。企業が社を挙げてBIMを導入するためには、まずCDEを整備し、BEPに基づき、BIMプロジェクトを的確にマネジメントする流れが求められる。「大切なのはしっかりとBEPを策定することであり、それによって目標が明確化し、方向性が定まる。そのBEPに基づいてプロジェクトを的確に管理するBIMマネージャの存在も重要になる」と強調する。

「建築の情報化」によって厳密な環境シミュレーションも可能になり、それが最終的に維持管理段階のBIM活用にも展開できる。同社はBIM導入の支援だけでなく、建物ライフサイクルを通じて活用するコンサルティンクについても展開していく方針だ。

シミュレーションの進化を加速

性能として何W違います」という提案をしてもらいたい。夏場の室温が何C変わります。ランニングコストで何円差がつかます。このような定量的かつイメージしやすいアウトプットで提案をしなければ、合意形成も難しくなる。シミュレーションであれば、どのくらいのエネルギーを使って、その結果何Cになったかを時間軸で詳しく分析できるだけで、3次元モデルを使い、注目される空間の快適性が保たれているかを空間軸でも評価可能となり、などを活用して分かりやすい表現もできる。

現地で一品生産の建物は試すことが難しい。そのため、施工前にどの材料や工法を使えば最適なコストを出せるかを定量的に検討する上で、効果を分かりやすく伝えられるシミュレーションの技術はますます求められている。FlowDesignerは専門知識がなくても扱えるほどの操作性、計算が速くさまざまな設計案を瞬時に比較

業界初 トータルソリューション サービス 開始!

点群データ計測

3Dデータ作成

環境解析

思ったより設備改修の効果がない
……ということがないように

株式会社アドバンスドナレッジ研究所
050-2030-2050 contact@AKL.co.jp

AReX-Style

www.arex-style.com

国土交通省 建築 BIM 加速化事業 補助対象ソフトウェア

建設DXをBIMで実現するための Revit アドオンツール

Revit 2024/2023/2022 対応

- AX-Family** ファミリのお悩みを解決。ファミライブラリ、建具ファミリの自動作成。
- AX-Starter Collection** 基本設計対応。建具ファミリの作成、仕上表、建具表の作成。
- AX-Design Collection** 基本~実施対応。詳細モデルの自動作成、コスト管理。
- AX-SC Collection** 生産設計・施工対応。LOD400レベルのモデル自動作成。
- AX-Manage Collection** AReX全製品の利用が可能。維持管理とデータマネジメント。

建築設計・デザイン
BIM コンサルティング&サポート
BIM 教育&サポート
AReX-Style (開発・販売)

株式会社 **ビム・アーキテクト**
www.bimarch.com